

【きょうのめあて】「かきと かぎ」を ただしく よもう。

こくご

5がつ15にち (きんようび)

きょうかしよ
42ページ~43ページ

めあてについて

今日は、「かきと かぎ」の学習を行います。

「さるの だいじな かぎの たば
げんかん うらぐち まど とだな
どれが どれだか わからない」

という文章をはっきり、明るい声で読めることが目標です。

また、「かき」と「かぎ」の区別をし、濁音に気をつけて、正しく読もうとしてもらえたらいいなと思います。

よろしくお願いします。

活動①

●きょうかしよ 42ページを ひらけましょう。

「かきと かぎ」の がくしゅうを します。

ゆっくりで いいので、 よんでみましょう。

3かい よみましょう。

(「読む姿勢」をして読みます。

一人で難しそうであれば、一緒に読むか、交代で読むようにしてあげてください。

☆ポイント☆

「さるの だいじな かぎの たば
げんかん うらぐち まど とだな
どれが どれだか わからない」

上のように、濁音(点々がつく音)を正しく読んでいるか見てあげてください。

活動②

●43ページを ひらけましょう。

ひとつずつ よんでみましょう。

(手順)

①「さる」と「ざる」では、どこがちがうかお子さんに聞く。

(反応例:「さ」に点々がつくと「ざる」になる。)

②「さる」って何のこと?と聞く。

(反応例:「動物のこと」「ウキキってなくよ。」「動物園にいるよ!」など。

③「ざる」って何のこと?と聞く。

(反応例:「料理で使う道具」「穴があいているボウルのこと」など。

④「さる」「ざる」と3回声に出して読ませる。

⑤ ①~④のことを、「かき」「かぎ」、「こま」「ごま」、「ふた」「ぶた」でも同様に行う。

	<p>☆ポイント☆ 「さる」と「ざる」の違いに気づき、</p> <p>「ものを表す言葉」（さる）と「その言葉が表すものの説明」（「さる」は、動物で、ウキキとないで、人間に似ている。）</p> <p>を、自分の言葉ですることです。</p> <p>なるべく、詳しく説明できるといいですね。</p>
活動③	<p>*活動③では、できたらで構いません。できそうであれば、挑戦してみてください。</p> <p>「てんてんを つかう ことばを みつけて、じゆうちょうに かいてみよう。」</p> <p>(手順)</p> <p>① じゆうちょう（連絡ぶくろに入っています）を用意する。</p> <p>② 濁音（点々がつく言葉）には、どんな言葉があるか、お子さんにたずねる。</p> <p>（例：「かご」「すずめ」「ぼたん」など。）</p> <p>③ 見つけたら、その言葉をじゆうちょうに書く。</p> <p>*いくつでも構いません。</p> <p>*言葉は分かるけれども、書くことが難しい場合は、</p> <p>①おうちの方が書いたものを上からなぞる。②おうちの方が書いたものを見て隣に書く。</p> <p>などしてあげてください。</p>
活動④	<p>●「ひらがなれんしゅう」ノートの「ら」「ゆ」のページを しよう。</p> <p>（「えんぴつの持ち方」が正しくできているか見てあげてください。</p>
活動⑤	<p>●「ら」や「ゆ」から はじまる ことばを みつけよう。</p> <p>（例：「らっぱ」「らいおん」「ゆげ」「ゆかた」など、見つけます。</p> <p>応用編</p> <p>「ら」や「ゆ」が真ん中にくることばを探してみてもいいですね。</p> <p>（例：「あらし」「ブランコ」「まゆげ」「ふゆやすみ」</p> <p>今日の「こくご」の学習は以上です。ありがとうございました。</p>